



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/>

まちに、人に、自分に

～かんどう！わくわく！いきいき！かわいっ子！～

校長 窪田 剛久

令和5年度が始まりました。本日入学式を無事執り行い、新たに53名の1年生を迎え入れることができました。小学校という新しい環境に期待感を抱いた瞳がキラキラと輝いていました。昨年度、川井小学校は50周年を迎えました。今年度は51周年。教職員も数名の仲間たちを迎え、気持ちも新たに学校教育活動に邁進していきます。保護者の皆様、地域の皆様からのご支援、ご協力を賜りながら、大切に「かわいっ子」を育てまいります。どうぞこの一年間、よろしく願いいたします。

本校は「まちに、人に、自分に、かんどう！わくわく！いきいき！かわいっ子！」というスローガンのもと、日々の教育活動を行っています。「かんどう」「わくわく」「いきいき」で目指している子ども像は、以下のようになっています。

- ・ **か**んどう…まちに、友達に、自分に感動（心を動かされること）できる子ども
- ・ **わ**くわく…まちのことに、友達のことに、自分のこと（よさや将来）にわくわくしながら主体的に取り組む子ども
- ・ **い**きいき…まちの人と、友達と、自分自身がいきいきと協同しながら行動できる子ども

本校では、教育課程全体で育成を目指す資質・能力として、「自分づくりに関する力」を掲げています。これはキャリア教育を行う上で重要な視点の一つです。キャリア教育では「社会的・職業的自立」を目標としていますが、その能力や態度は、役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていくことで培われます。本校でも日常の学校生活の中で、あるいは行事等の中で子ども達が様々な役割を担っています。その役割が仲間に認められ、評価されることで心を動かされ（かんどう）、自己有用感が醸成されます。また、学級づくりや学年づくり、行事等を実施する際には必ず目標やめあてを設定しています。経験が少ない子ども達にとっては、目標やめあてが明確になっている方が、自身を成長させるべき方向が定まりやすいと考えます。その目標やめあてに向かって友達と協同し、いきいきと活動することで主体性を伸ばしていくことができます。このようにして育んだ「自己有用感」と「主体性」が児童一人一人の「キャリア形成」に大きく寄与し、仲間や自分の成長にわくわくしながら「自分づくりに関する力」を身に付けていくと考えています。「かんどう」「わくわく」「いきいき」を通して、素敵な「かわいっ子」を育成できるように、今年度も学校経営を推進していきます。

さて、コロナ禍による感染者数が減少傾向となり、様々な行動制限が撤廃されつつあります。本校ではこれまで「かんどう・わくわく・いきいき」を具現化するために、知的好奇心が刺激されるような教材を考えたり、体験的な学習を積極的に取り入れたりしてきました。しかしこの3年間、多くの行事が制限され、それまで大切にしてきた活動を十分に行うことができませんでした。このまま行動制限が撤廃されていくのに伴い、新しい形で、川井小学校らしい体験的な活動を行っていこうと考えています。保護者や地域の方々が参観できる機会も設定し、子どもの成長を共有できるように計画していきます。

新型コロナウイルスがなくなったわけではありませんが、だからこそ子どもたちの笑顔や日々の営みを大切に、まちとともに歩む学校をつくるため、全職員で取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。